



に い が た

〈 新 春 号 〉

県電だより



表紙絵画紹介

『疫病退散！ 奈良の大仏様』

作成場所・作成日／
奈良東大寺大仏殿 平成29年夏

【コメント】

平成29年夏、妻と斑鳩の里を旅し東大寺を訪ねた際、伽藍から差し込む光の中の大仏様は荘厳で慈悲に満ち、そのお姿に思わず筆をとりました。

奈良の大仏が建立された理由の一つが感染症対策であったことを、ご存じですか。天平9年（737年）天然痘が猛威をふるい、多くの方が亡くなりました。時の聖武天皇は詔を発し、民の信頼が絶大であった僧行基が、9年の歳月をかけ、全国から当時のわが国の人口の4割にあたる延べ200万人の人々を集めて建立しました。

1300年前に世の平和を願って建立された大仏様は、今も私たちを見守ってくれています。一日も早い疫病退散をお祈りいたします。

余談ですが、大仏殿柱の穴くぐりは、若い時と違って通り抜けることが出来なくて、とても残念でした。

作成者／新潟県電気工事工業組合 三条支部 本間電機工業株式会社 池田 慶一 氏

新潟県電気工事工業組合



目次

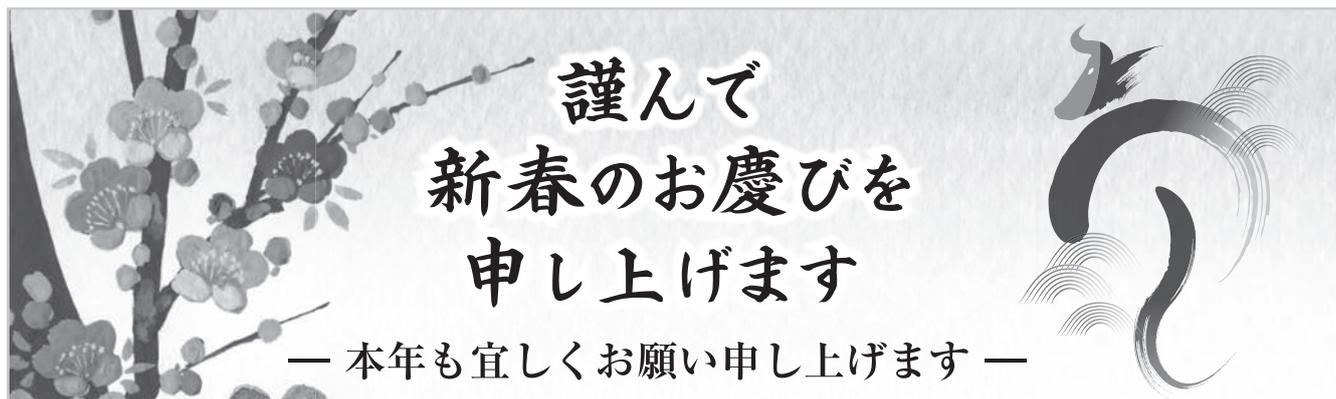
1. 年頭のご挨拶	1
2. 令和2年度「市町村議会議員協議会と三役・総務委員会との懇談会」を開催	12
3. 地域懇談会を開催	13
4. 令和2年度 電気工事業活性化懇談会	14
5. 電気工事技術者のための作業安全講習会	15
6. 各種表彰	16
7. 各支部だより	17
8. 各青年部だより	19
9. 令和3年度 消防関係試験実施計画	23
10. ホームページ・ブログリニューアルのお知らせ	24
11. 組合イントラネット（サイボウズ）ご利用のご案内	25
12. 全日電工連 福利厚生制度のご案内	26
13. コンプラ講座シリーズ	28
14. 組合員の異動・変更	28

【表紙写真募集】

- ・県電だより年間発行予定：1月1日、4月1日、7月1日、10月1日（年4回発行）
- ・写真の現物あるいはデジタルカメラで撮影したデータを、発行日の1ヶ月前までに下記までお送り下さい。

記

〒951-8068 新潟市中央区上大川前通6番町1203 新潟県電気工事工業組合 TEL 025-229-4101





年頭のご挨拶

2021年 年頭のご挨拶

理事長
小林 功

新年明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃は当工組の事業運営に格別のご協力を賜りまして、心より厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、「新型コロナウイルス感染症拡大」の一言に尽きる年でありました。感染症の拡大は私たちの社会や暮らしの様々なところに影響を及ぼし、感染症拡大が収束した後も、感染症の存在を前提とした新しい生活様式が求められ、定着していくと予測されています。

また、世界の工場と言われる中国が感染源であったため、各国から中国への部品の調達、所謂サプライチェーンが寸断され、国内でも多くの商品や製品が品切れとなることとなり、否応なく、経済のグローバル化を痛感させられたところでありました。

感染症の話は他に譲ることとしますが、当工組では、ITを活用した事務の効率化を目的に、平成30年6月から県本部と13支部に「WEB会議」システムを導入し運用を始めておりましたが、コロナ禍と称される状況のもとでは多数の人が集まるリスクを回避するため、「WEB会議」システムが活用されました。

2月末に予定していた「市町村議会議員協議会と三役・総務委員会との懇談会」では、来賓の臨席をお願いしていたことから中止を余儀なくされましたが、3月26日にWEBによる理事会を開催した他、各事業委員会や各支部への説明会をWEBで開催し、システム導入が時期尚早ではなかったことに確信が持てた次第でありました。

また、6月2日に開催いたしました総代会では、他団体の状況も参考にしながら、同日行っておりました他の行事を中止し、会場を電気工事会館に移して開催いたしました。組合員の皆様に書面による議決をお願いして、少人数の出席者により開催し、「WEB会議」システムで各支部に実況配信いたしました。当工組の70有余年の歩みのなかで、初めての出来事であったと思われまます。

感染症拡大による事業の変更・中止は枚挙にいとまがありませんが、影響が大きかった事業の一つとして、技能競技大会の中止があげられます。3月の理事会で一般の部並びに女性の部の出場選手を決定いただき、東北ブロック大会、全国大会の連覇を目指して始動いたしましたが、いずれも春先には中止が決定されました。出場を予定されていた選手の皆様には、次大会に向けて変わらぬ研鑽をお願いするとともに、当工組としても万全の支援体制を整えてまいる所存であります。

さて、全日電工連では「未来構想」、「組織強化」、「財政強化」の3ワーキンググループを立ち上げ、将来に向けた課題解決と各委員会への答申に向け審議が行われております。当工組においても、昨年8月に5年先、10年先の未来を見据えた方向性を三役会に答申していただくため、県青年部会長経験者をメンバーとした「新潟版ワーキンググループ（新潟県工組タスクフォース）」を立ち上げました。今後、三役会を中心に答申いただいた内容を検討し、実現化のためのアクションを起こして参

りたいと考えております。

また、総務委員会担い手部会で、女性が活躍できる環境づくり支援について検討を行っておりますが、より具体的かつ効率的な取り組みを進めていくため、女性の目線で様々な提案を行っていただくことを目的に、組合員事業所で活躍している女性社員による「女性活躍推進ワーキンググループ」を立ち上げました。

昨年12月に開催いたしました第一回会議では、今後のテーマを設定するために、知りたいこと、興味があることをお聞きしたところ、「資格について」、「女性が使い易い・使いたいと思う工具・道具」、「現場で自分の体力面での力不足を感じた場合の周囲への協力依頼」等があげられました。

今後、女性のスキルアップ、活躍の場の提供のための、活発なご意見をいただきたいと考えております。

昨年6月、念願であった「自由民主党電気工事議員連盟」を設立いただきました。当工組政治連盟の佐藤信秋参議院議員にも参加いただき、電気工事関連産業の振興を行う施策を実現することを目的として、当業界に係る第一種電気工事士への実務経験年数の短縮、電気工事士免状のカード化、建設業法空調工事に電気工事を追加等、課題の解決に向け検討を進めていただいております。お陰様で、永年の懸案でありました「第一種電気工事士実務経験年数短縮化」につきまして、今年4月を目途に3年となる見込みとなりました。改めて、議員連盟皆様のご尽力に深くお礼を申し上げますとともに、今後ともご指導賜りますことをお願い申し上げます。

さて、私ども電気工事業界は、電気という生活に不可欠な社会インフラの整備を担っており、今後ともこの役割は変わることがないと思っておりますが、感染症拡大収束後の社会や暮らしの変化は予断を許さない状況であり、柔軟な対応が求められると考えられます。「不易流行」を肝に銘

じて、本年は次の事業に取り組んでまいりる所存であります。

総務委員会では、「電気系教育・訓練機関の学生との交流事業」を継続実施いたします。本事業も8年度目となり、その成果として支部と学校・先生との繋がりができてきています。その繋がりを生かして、多くの若者に地元組合員企業に入社してもらえよう、働きかけを行っていただきたいと考えています。

また、昨年立ち上げました「女性活躍推進ワーキンググループ」では、今年は事前に予めテーマを設定したうえで、4回程の開催を予定しております。「女性が活躍している(できる)業務」、「これから就職する若者に、働きたいと思ってもらえる魅力ある業界づくり」等について、自由闊達なご意見をお聞きすることにしております。また、様々な場でご意見をいただきます「組合員減少対策と組合加入メリット」に関して、他県での成果が認められる取組み事例を、全日電工連を通して情報収集し、それを基に具体策を検討のうえ実施してまいります。

なお、運用開始4年度目となる「WEB会議」システムに関しては、今年から、一部のセミナー・講習会を試行的にWEBで開催することとしておりますが、そこで生ずる問題点や組合員事業所・出先からの参加について検討を行い、更なる活用に取り組んでまいります。

経営企画推進委員会では、組合員の皆様がセミナー・講習会に「何を求めているのか」、「何をやれば業界のためになるのか」を最重要に、事業を計画してまいりました。人材育成に関するセミナーとして「電気工事士現場力レベルアップセミナー」を開催いたしますが、当セミナーについてもこれまで対象者や内容を見直しながら継続実施してまいりました。また、本年は支部委員長との合同会議で要望が多かったWEBで開催することとしております。また、新たな取り組みとして、事務・間接部門の人材育成として、昨年

は積算講習会の開催に向けた調査・研究を行ってまいりましたが、当講習会についてもWEBでの開催に向けて取り組んでまいります。

また、昨年開催した「電気工事業活性化懇談会」では、組合員からの異業種合併の事例紹介がテーマであったことから、多くの組合員の皆様から参加いただきました。本年も組合員の皆様から関心を持っていただけるテーマで、開催を検討してまいります。

また、組合員の皆様の万一の備えとして、第三者損害賠償制度の全組合員加入の促進を初め、福利厚生制度の更なる充実に取り組んでまいります。

技術委員会では、昨今のコロナウイルス感染防止と併せ、地元でのWEBによる受講を希望する声が大きくなってきていることから、受講者の移動のための時間的拘束を軽減し、受講しやすい環境を整えることを目的に、今年から試行的に「これからの現場管理者のための必携セミナー」並びに「電気工事作業指揮者安全教育」をWEBで開催いたします。各支部におかれましては、会場設営等円滑な運用にご協力下さいますようお願いいたします。

また、平成26年の作成から相当の期間が経過し、劣化が激しくなっていることが想定される「安全衛生カレンダー」について、今年新たに作成し、組合員の皆様に配布、活用いただくことにいたしました。また、これに併せて、「安全衛生カレンダー」に掲載する「安全標語」を組合員の皆様から募集することといたしました。奮って応募下さいますようお願いいたします。

また、支部で開催する「低圧電気工事取扱特別教育」、「フルハーネス型安全帯使用作業特別教育」、並びに「接地工事研修会」、「PCB廃棄物の処理に関する説明会」に関して、引き続き支援を行ってまいります。

なお、感染症拡大の影響のため今年に延期された「高校生ものづくりコンテスト新潟県大会」

並びに「高校生ものづくりコンテスト北信越大会」につきましては、高校からの要請のなかで引き続き支援を行ってまいります。

引込線事業委員会では、昨年来いくつかの事業が感染症拡大の影響で中止となりましたが、これまで引込線工事会社の安全表彰を行う等、安全意識の醸成・高揚の場として継続開催し、今年で9回目を迎える「安全大会」について、新たな取り組みとして、2月にWEBシステムを活用して、メイン会場の県本部と各支部を結んで開催いたします。

令和4年1月から着用が義務付けられます「フルハーネス型安全帯」について、これまで各支部で特別教育を実施いただいておりますが、当委員会では柱上作業での取り扱いに関して、昇降柱訓練や基礎訓練等、各種訓練のなかで周知・徹底してまいります。

また、昨年事業計画として承認いただきました、配電付託工事の円滑な運用と引込線工事会社各社への仕事量の平準化を目的とした、引込線工事会社のブロック体制の構築に関して、引き続き取り組んでまいります。

昨年、各引込線工事会社でゼロ災害を達成することができましたが、本年も「ゼロ災害達成」のため、災害事例の情報共有や安全パトロール等諸活動を鋭意実施してまいります。

昨年の年頭のご挨拶で、令和の時代も平和であることを祈念いたしましたが、国難とも言われる感染症拡大は、戦争の悲劇にも劣らない猛威を振るっております。感染症の猛威を克服し、一日も早く収束できることを願ってやみません。

結びに、日頃お世話になっております関係諸官庁・諸団体、並びに東北電力㈱、東北電力ネットワーク㈱の皆様、今後とも益々のご指導ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、組合員皆様のご隆盛とご健勝を心からお祈り申し上げて、年頭のご挨拶といたします。



年頭のご挨拶

令和3年 年頭の御挨拶

新潟県知事

花角英世

令和3年の年頭に当たり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が世界を覆い、まさに世界中の人々にとって試練の1年となりました。このウイルスの猛威は、本県においても生活・経済全般にわたって甚大な影響を及ぼし、その収束がいまだ見通せない状況にあります。改めて亡くなられた方々のご冥福を心からお祈りいたしますとともに、感染された皆様に対しお見舞い申し上げます。また、医療従事者をはじめ、感染リスクと向き合いながら最前線で社会生活を支えていただいている皆様に対し、心から感謝申し上げます。

これまで県では、新型コロナウイルスの感染防止対策や医療提供体制の整備とともに、社会経済の維持・再生に向けて、事業の継続や雇用の維持、「新たな日常」を支える基盤整備などの様々な取組を進めてきたところです。引き続き、感染拡大防止と社会経済活動の両立に向け、国や県内市町村、関係機関等とも連携しながら取組を進めてまいります。

本年は、感染拡大防止と社会経済活動の維持の両立に加え、ウィズ・コロナ、ポスト・コロナ社会を見据えながら、中長期的にも本県の成長・発展を図っていくための取組を進めていく必要があると考えております。新型コロナウイルス感染拡大を契機として、社会経済活動やライフスタイルに変化が見られる中、人や企業の地方分散の流れが生じつつあります。この流れを捉え、新潟を選ばれる地域とするため、地域の持つ「強み」や「財産」を活かし、テレワークを行うためのサテライトオフィスの開設支援やワーケーションを行う方々等への働きかけを

強めるなど、人と企業を呼び込む施策を積極的に進めてまいります。

また、県内産業のデジタル・トランスフォーメーションの実現に向けて、企業ニーズや課題等の調査を行うとともに、IT企業と、製造業、サービス業などとのマッチングの機会を増やし、異業種連携による5G等のIT技術活用への取組への支援なども行ってまいります。

さらに、脱炭素社会の実現に向けては、本県においても再生可能エネルギーの導入が進められてきたところですが、「2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロ」を目指し、次の世代に安全で快適な環境を引き継げるよう、風力や水力、バイオマス、地中熱など、本県の多様な地域資源を活かした再生可能エネルギーの更なる導入や、水素エネルギーの利活用等の取組を推進してまいります。

そして、これらの取組を加速させるとともに、「持続可能な社会実現に向けた政策に係る検討委員会」での議論を踏まえ、厳しい財政状況の中にあっても、中長期的観点から本県の未来を展望できる新たな政策や事業を検討してまいります。

今後も、電気工事における安全確保という基本の上に立ちつつ、高度な技術への取組を強化し、新しい分野へ積極的にチャレンジしていくことで、大きく飛躍されることを期待いたしますとともに、保安の確保、人材の育成、経営基盤の強化などに努められ、県民生活の安心・安全を担う機関として、引き続き御尽力くださるようお願い申し上げます。

結びに、貴組合の御発展と皆様の御多幸をお祈りしまして、新年の御挨拶といたします。



年頭のご挨拶

2021年 年頭のご挨拶

東北電力株式会社 上席執行役員 新潟支店長

藤倉 勝 明

新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新潟県電気工事工業組合の皆さまには、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。平素は当社の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、電気事業を取り巻く環境は、電力の小売全面自由化による競争の激化など大きな変革期を迎えており、昨年4月には、国の電力システム改革の一環として一般送配電事業者の法的分離が実施されました。

当社は、発電事業および小売電気事業を運営する「東北電力株式会社」のもと、送配電部門を「東北電力ネットワーク株式会社」として分社化し新たな組織体制となりましたが、会社が分かれたことで事業に支障を来さないよう、運営に万全を期すとともに、特に災害対応などにおいては両社が一体となった復旧体制を整え、電力の安定供給を果たせるよう取り組んでまいります。

また、当社は、昨年2月、「東北発の新たな時代のスマート社会の実現に貢献し、社会の持続的発展とともに成長する企業グループ」を2030年代のありたい姿とする「東北電力グループ中

長期ビジョン」を策定いたしました。基盤事業の「電力供給事業」においては、徹底的な効率化により競争力強化を図る一方で、「スマート社会実現事業」について、サービス開発力や提案力を高めることで、社会課題の解決につなげるとともに、新型コロナウイルスの影響で多様化したお客様のニーズに的確に応えてまいります。

一方、東日本大震災から間もなく10年を迎えますが、記憶を風化させることなく、今後も地域にしっかりとよりそい、復興さらには新潟県と東北6県の発展に向け様々な面で貢献を続けてまいります。

当社といたしましては、これからも東北電力グループのスローガン「より、そう、ちから。」のもと、地元新潟の電力会社として、地域に「寄り添い」、お客様のご要望に「より沿い」、新潟の成長や発展への貢献を通じて、お客様や地域社会のご期待にお応えできるよう全力で取り組んでまいります。

結びになりますが、貴組合の益々のご発展と、組合員の皆さまにとりまして、本年が幸多き年となりますよう心よりご祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



2021年 年頭のご挨拶

東北電力ネットワーク株式会社 新潟支社長
松坂英次

新春を寿ぎ謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新潟県電気工事工業組合の皆さまには、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。平素は当社の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて当社は昨年4月1日、電力システム改革の一環で、東北電力株式会社の一般送配電事業および離島における発電事業等を承継し、東北電力ネットワーク株式会社として事業を開始いたしました。組織変化はありましたが、電力の安定供給や系統連系に対する地域の皆さまの期待は変わらないものと認識しております。今後とも、日常の電力需給バランスの維持や送配電設備の工事・メンテナンスを的確に行うとともに、災害復旧訓練による対応力強化など、日々の業務を全うしていく所存です。新潟県内には12の電力センターを配置、青い作業服と黄色い車に「東北電力ネットワーク」の新会社名を掲げ、県内各地域のお客さまへこれまでと変わらず電気をお届けしてまいります。

昨年10月には、新潟・東北管内の停電情報を速やかにお知らせするスマートフォンアプリ「東北電力ネットワーク 停電情報」の運用を開始（当社ホームページよりダウンロード可）、離れてお住まいのご家族の停電情報を“町”単位で把握できるなどご好評を賜り、今後もこうしたお客さまサービスのさらなる向上に努めてまいります。

一方、東北電力グループを取り巻く事業環境は日々変化しており、事業基盤を置く新潟県・東北6県では、人口減少や少子高齢化が進むな

か、新型コロナウイルスに係る業態・行動変容、さらには働き方改革の進捗など、社会構造の変化が顕在化しています。

このような変化の激しい時代において、自らが変革を推し進め、主体的に挑戦していくために、東北電力グループは「東北発の新たな時代のスマート社会の実現に貢献し、社会の持続的発展とともに成長する企業グループ」を2030年代のありたい姿とする「東北電力グループ中長期ビジョン」を策定しました。その実現に向けて、東北電力ブランド「より、そう、ちから。」の価値向上に取り組み、新たな時代を切り拓いてまいります。

当社としては、一般送配電事業者として、より一層の中立性・公平性を確保するとともに、新潟・東北における電力の安定供給の使命を果たしながら、お客さまや地域社会の安心・安全・快適な暮らしに貢献してまいりますので、引き続き、新潟県電気工事工業組合様より、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、貴組合が長年にわたり、新潟県内の電気工事業界の健全な発展と繁栄に取り組まれるとともに、電気工事を通じて、電気をご利用になられる地域の皆さまへ安心と安全をお届けし、社会基盤を支えながら経済の発展等に寄与されてきたことに、あらためて敬意を表します。

貴組合の益々のご発展と、組合員の皆さまにとりまして本年が幸多き年となりますよう心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶



2021年 年頭の挨拶

総務委員長

本山 秀樹

新年明けましておめでとうございます。新春を迎え、皆様には穏やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。

2019年暮れに中国武漢市に発生した新型コロナウイルス感染症は、またたく間に全世界に蔓延し、昨年暮（2020年12月1日）には全世界の感染者数は6千3百万人を超え、日本でも15万人を数える感染者数になり、世界的なパンデミックが続いています。正に2020年は、コロナ、コロナの年でした。東京オリンピックの今年への延期、感染対策が日常化した社会としてニューノーマルという言葉を目にし、社会が一変したことに気付かされます。

組合活動も例外ではありません。ほぼ全ての理事会、委員会が三密を避けるためにWEB会議になりました。一昨年金沢での全国大会で「時代に対応した事業」として表彰された新潟県工組の先進的な取り組みが、このコロナ禍によって一気に加速し推進されました。そして、今後の動きとして組合主催の各種講習会、セミナーも、感染防止、受講機会の拡大、受講者の拘束時間削減を目的として各支部にてWEBで開催出来るよう、問題点の整理と環境整備に総務委員会として着手しました。

さて、総務委員会では、「担い手部会」と「IT部会」と大きく2部会に分け事業を進めています。「担い手部会」では、継続事業として担い手確保のため「電気系教育・訓練機関の学生との交流事業」を進めてきました。電気系高校生

だけでなく範囲を広げ実施の予定でしたが、このコロナ禍のために、大多数の学校で交流事業は中止になりました。組合にとって重要な事業でもあり、今年は開催出来ることを期待します。更に当部会では、新規事業として全日電工連の「もっと女性が活躍できる電気工事業界を目指す」をテーマに「女性活躍推進事業」をスタートさせ、女性活躍のためのワーキンググループを立ち上げました。

また、「IT部会」では見易く業界の魅力を発信できる組合ホームページの全面的なリニューアルを行い、組合のイメージアップと情報発信力の強化に努めています。

また、当委員会では毎年「地域懇談会」を開催して来ました。昨年10月に上越支部、長岡支部を訪問し、支部で抱える問題点、本部に対する要望等をお聞きし、活発な意見交換を行いました。更に、委員会の活動として県工組市町村議会議員協議会との懇談会を毎年開催しています。顧問の佐藤参議院議員、相談役の県議会議員の方々と交えて、組合の抱える諸問題、特に電工労務単価の引き上げや、若手技術者の入職・定着・育成などを取り上げ、三役とともに積極的に意見具申を行いました。

終わりに、今年もまた組合員皆様のご協力をお願い申し上げます。新型コロナウイルス感染症に打ち勝つとともに、皆様の益々のご健勝、ご発展をご祈念申し上げます。

年頭のご挨拶



新年のご挨拶

経営企画推進委員長

山本 進

新春を寿ぎ、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新潟県電気工事工業組合の組合員の皆様には、健やかに新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。

平素は、経営企画推進委員会の運営に御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの蔓延により、昨年計画しておりました事業のほとんどが出来なかった事が大変残念で心残りです。

その様な中で、10月に行いました「電気工事業活性化懇談会」は講師の選定、会場設営等全てに於いて旨くできたと思っており、コロナ禍に於ける講習会や懇談会等の催しものの一つの方向性、指針になるものと思われま

す。会場でのアンケートではほとんどが好意的な意見が多かった様に思われましたが、中に「この懇談会が誰を対象としているのか」という意見もございました。ただ言えることは、いつ何時自分の事業所においても起こりうる事柄でも有ります。

今回は事業の成功例を取り上げましたが、失敗事例を取り上げることも有りだと感じました。「役に立つ」「組合員の為に成る組合」という大前提のもとに企画しておりますが肝に銘じて置きたいところです。

成功事例は異業種合併という「M&A」でし

たが、事業承継、2030年に実施される新築家屋の「ZEH（ゼッチ）」等業界として取り組んでいかななくてはならないセミナー等は、まだまだたくさんあります。少しずつ積み重ねていけたらと思いました。

経営企画推進委員会で、3月に東京ビッグサイトで行われる「スマートエネルギーWeek」の視察を計画しておりましたが、この時世の為どうなるかわかりません。省、創、畜エネに関する技術、製品、サービスが出展する新エネルギー業界の国際商談会との事で、これからの委員会での省、創、畜に関する新技術、エネルギーの取得が目的とは言え気を揉む所です。

福利厚生制度の充実という点におきまして新制度「取引信用保険制度」が加わり、ますます充実しておりますが、まだまだ保険に未加入の事業所が散見されております。組合に加入するメリットとして、安全教育、安全指導、充実した各種保険制度等を挙げる事ができると思っておりますが、各事業所に合った保険の見直しや、事業所倒産防衛の為の加入を切にお願いしたいところです。

最後になりますが、皆様方と各事業所、従業員の皆様、ご家族のご繁栄とご健勝を祈念し、今年も稔り多き年となります様宜しく願いいたします。

まずは、新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

2021年 年頭のご挨拶

技術委員長

梨本 栄一

新年明けましておめでとうございます。皆様には新春を迎えお慶び申し上げます

日頃より、当委員会活動に、多大なるご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。また、大勢の方より労働安全衛生関係講習会をご受講いただき、重ねて御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の流行により「高校生ものづくりコンテスト新潟県大会」、「第2回電気工事技能競技東北大会」、「第4回電気工事技能競技全国大会」、「4K8K 放送新技術講習会」等の様々な大会や事業が中止となり、非常に残念な一年となりました。

そんなコロナ禍の中ではありましたが、WEB会議等工夫を凝らしながら事業を展開して参りました。

「内線工事における不良率低減の推進」の事業では、支部技術委員長との合同会議の中で大阪府電気工事工業組合の松倉様のご指導のもと、リモートでの「接地工事研修会」を実施致しました。この講習会を各支部で展開していただければ、内線工事不良率低減の一助になるものと確信しております。

当初事業計画にはありませんでしたが、最近、特に作業者のヒューマンエラーによる電気事故が急増していることから、「電気工事技術者のための作業安全講習会」を開催致しました。

また、皆様からの素晴らしい安全標語を掲載

して、新たに安全衛生カレンダーを作成しています。3月には皆様にお届けできると思いますが、こうした事業から電気事故防止と安全衛生に対する意識を更に高めていければと考えています。

コロナ禍の中、皆様が安心安全に聴講できるように、今年はリモートによる講習会が多くなります。3月に開催します「これからの現場管理者のための必携セミナー」は、今回で4回目となりますが、初めて各支部と講師を繋いだリモートによる講習会となります。人気のあるセミナーで、各支部での聴講となりますので、多くの皆様からのご参加をお待ちしております。また、「電気工事作業指揮者安全教育」等の実習を伴わない講習会等も今後リモートでの講習会を予定しておりますので、宜しくお願い致します。

以上、講習会、セミナーに関しまして、ご要望、ご意見があれば何でもお聞かせ下さい。委員会で協議致しまして、少しでも皆様のお役に立てればと考えています。

結びになりますが、この新型コロナウイルス感染症が1日でも早く収束し、以前のように組合事業が活発化する事を願うと共に、皆様の益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年も何卒、宜しく願い申し上げます。



年頭のご挨拶

あらたな時代のニーズに対応した引込線事業の展開と、 ゼロ災・ゼロ疾病をめざして

引込線事業委員長

原田 和 広

新春を寿ぎ謹んでご挨拶申し上げます。

日頃は、引込線事業に関しまして、多大なご支援とご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和2年は新型コロナウイルスの影響により、われわれ引込線事業委員会の活動においても「危険予知訓練」の中止や「昇降柱・基礎訓練」の延期など、組合員の皆様に多大なご迷惑をお掛けしました。令和3年も新型コロナウイルスの影響がすぐに終息するとは言い難い状況ではありますが、令和2年の反省を活かして、新型コロナウイルス感染リスクを回避しながらも皆さまからご参加いただける活動を展開したいと考えます。

引込線委託工事、引込線張替工事、スイッチング工事などの売上は年々減少傾向にあります。東北電力(株)様においては令和2年4月に東北電力ネットワーク(株)に分社化されましたが、工事予算について当面増額は見込めないとのことで、配電付託である「引込線張替工事」も必要ではあるものの、なかなか引込線会社への発注量増加は厳しい状況にあります。しかしながら我々の収益確保のため、引込線会社が地元電力センター以外での引込線張替工事、スイッチング工事を可能とした広域運営体制などにより引込線事業部が一枚岩となって新たな時代

の波に立ち向かっていかなければと考えます。

安全面で、厚労省は高齢者雇用安定法により高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境づくりや労働災害防止のための健康づくりを目指していますが、われわれ引込線事業部においても高齢者の方への何らかの安全対策が必要であると考えております。

また、安全衛生法では、令和4年1月より高所からの墜落事故で重症化を防ぐため、「フルハーネス型墜落制止用器具」の着用が義務付けられます。そのことより令和3年度、われわれの「低圧以下引込線標準作業マニュアル」の改訂および「昇降柱訓練」など各種訓練において柱上作業でのフルハーネスの取り扱いについて周知させていただきます。

結びに、県内でも新型コロナウイルス感染が毎日のように報道されております。あたらしい生活様式、マスクの着用や、3密回避など生活環境も制限され、加えて季節的には気温低下、強風雪により作業環境が悪化する時季であります。そのような中でも一人ひとりが「安全第一」をモットーにゼロ災・ゼロ疾病をめざしましょう。

皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。まして、新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

2021年 年頭のご挨拶

県青年部会長

大島 博

新年あけましておめでとうございます。

日頃は新潟県電気工事工業組合青年部活動に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、年明け1月にWHOより新種のコロナウイルスが検出されたと発表され以降世界規模でコロナウイルスの感染が広がり、日本においても4月に緊急事態宣言が全国規模で発せられ生活環境が一変をいたしました。

我々青年部の活動も当初予定をしていたものが変更や中止を余儀なくされ思うような活動が出来なくなりました。

そのような中、例年開催している支部間交流スポーツ大会の中止を受け経営・技術委員会より業界の発展・担い手確保に向け交流・情報委員会と連携し組合支部PR動画の作成を行わせていただき経営セミナーを開催させていただきました。

経営セミナーでは新型コロナウイルスの感染拡大を受け思うような活動、交流が持てない中で、活動を展開する各支部との情報交換のツールとして委員会共同で作成した映像を使用し各支部の特色や課題を知ることによって、自支部の発展へ繋げる機会となったかと思えます。また作成した動画は出前授業等でも活用いただき組織、業界の認知へ繋げていきたいとも思います。

平成18年より開催しています支部間交流スポーツ大会は三条支部主管にて開催の予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け残念ながら中止となりました。スポーツ大会につきましては、開催に向け尽力いただきました三条支部の皆様には感謝を申し上げます。開催できなかった悔しさを胸に次回は更な

る素晴らしい大会の開催に繋げていければと思います。

そして今年度の取り組みではありませんが、青年部で地域活性化ガールズ集団 Lily&marry 'S 様（通称：リリマリ）よりご協力をいただき「電気工事業界のマイナスイメージの払拭と活性化にむけて～女性の活躍推進と共に～」をテーマに取り組んだ活動は、第4回全国青年部会員大会において特に全国に発信すべきと認められた9事業に選ばれました。

新潟電工ガールから始まり先輩諸兄から取り組んで参りました誰もが活躍できる業界づくりに向けた私たち青年部の活動は親会からも高く評価され、親会にて女性ワーキンググループの発足へと繋がり、今後の更なる展開が期待されます。

思うように活動が出来ない一年間でありましたが各種会議においてリモート会議を導入するなど、活動を継続できたことは皆さまのご理解とご協力の賜と厚く御礼と感謝を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け教育現場や社会においてネットワークの構築が加速的に普及し、私たち電気工事業界の担いの重要性が更に求められたかと思えます。

会長としての任期も間もなく終わり新たな体制での新潟県工組がスタートを迎えるかと思えます。生活する上で無くてはならない生活に密接に関係する私たちの業界において、業界の未来を担う私たち青年部が更なる発展と活躍することを祈念するとともに、本年度が会員企業の皆様にとって明るくより良い一年となりますように祈念し年頭のあいさつとさせていただきます。今の状況をピンチと思わずチャンスと捉え、足を止めることなく歩んでいきましょう。

令和2年度 「市町村議会議員協議会と三役・ 総務委員会との懇談会」を開催

去る10月24日、令和2年度の「市町村議会議員協議会と三役・総務委員会との懇談会」が、ANAクラウンプラザホテル新潟において開催されました。

本懇談会は、当工組組合員関係者の市町村議会議員で構成する新潟県電気工事工業組合市町村議会議員協議会との連携を図るために、総務委員会事業の政治活動の一環として開催されるものです。

当日は、当工組政治連盟顧問佐藤信秋参議院議員、同相談役尾身孝昭県議会議員、並びに同相談役渡辺和光県議会議員にご臨席を賜り、市町村議会議員協議会より大岩会長はじめ2名、県本部より小林理事長はじめ三役・総務委員・事務局

15名の合計20名が出席して、懇談会が行われました。

懇談会は、本山総務委員長の司会で小林理事長・大岩会長の挨拶に始まり、小



佐藤信秋顧問



尾身孝昭相談役



渡辺和光相談役



懇談会場

林理事長より当工組を取り巻く課題等として、「電気系教育の充実」、「週休二日制推進」、「公共工事設計労務単価の更なる改善」についての説明行われ、佐藤顧問、尾身相談役、渡辺相談役より、当工組のこれらの課題に対する考え方や対応等、並びに国政・県政の現況等についてそれぞれご報告いただきました。

その後、質疑応答・フリートークに移り、前述の課題や県立高校等再編整備計画、公共工事で発生する廃電線の障害者就労支援有効活用、建設業法における空調工事の発注業種区分、電気工事士免状のカード化、感震装置補助、火災警報器の点検、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」等について、議員協議会・県本部から顧問・相談役に要望、質問があり、活発な意見交換が行われました。

地域懇談会を開催

令和2年度の地域懇談会が、上越支部並びに長岡支部において開催されました。

地域懇談会は総務委員会事業として、支部組合員と県本部役員が組合事業活動全般にわたる意見交換を行い、各支部の実情・ニーズを把握し、より適切な組合運営を図ることを目的に、毎年度2支部を廻って開催されるものです。

懇談会は、上越支部では中務総務副委員長、長岡支部では本山総務委員長の司会・進行ではじまり、本部より組合の活動状況並びに委員会活動、組合ホームページのリニューアルについて映像で紹介が行われたのち、懇談テーマについて支部組合員との意見交換が行われました。

「上越支部」

10月15日、上越市のホテルハイマートで上越支部との地域懇談会が開催され、県本部より小林理事長をはじめ三役・総務副委員長他10名、上越支部より役員・組合員他21名、合計31名



上越支部組合員と意見交換

が出席しました。

懇談会では、懇談テーマである組合員の減少について、①担い手のいない事業所への救済、②新規加入のメリット、青年部員の減少について他、県本部への要

望事項について、①第一種電気工事士定期講習会の上越開催希望、②不良工事指摘、③支部講師、④組合加入PR、⑤引込線関係について他、活発な意見交換が行われました。



上越会場

「長岡支部」

10月27日、長岡市のホテルニューオータニ長岡で長岡支部との地域懇談会が開催され、県本部より小林理事長をはじめ三役・総務正副委員長他10名、長岡支部より役員・組合員他29名、合計39名が出席しました。



長岡支部組合員と意見交換

懇談会では、懇談テーマとして、①女性の担い手確保事業、②組合員事業所の規模・業態を考慮した施策の必要性、③業界への学生入職者確保、④組合未加入事業者の把握・加入促

進、⑤建設業関連団体との連携、⑥講習会申込ネット対応、保険料・講習会費等キャッシュレス決済化、⑦撤去申込電話受付のスムーズ化について他、活発な意見交換が行われました。



長岡会場

令和2年度 電気工事業活性化懇談会

令和2年10月9日（金）、ホテル日航新潟において経営企画推進委員会（山本進委員長）事業の一環として、「電気工事業活性化懇談会」を開催、三役、事業委員長、総務委員、経営企画推進委員、各支部経営委員長並びに組合員より55名に出席いただきました。

本懇談会は、電気工事業界を活性化することを目的に年度毎に内容を変えて開催しているもので、今回は「下請け救済」並びに「異業種合併」の2テーマを取り上げました。

新型コロナウイルス感染症が懸念される中で、出席者への検温の他、密にならないようひとりひとりの席を広く取る等、例年ない対応を取りながらの開催となりました。

当日は、第一部として、パートナーズコンサルティング代表 江部 誠一 様より、「仕事の質を求め、対価を守る（下請け救済に関するセミナー）」をテーマに、下請等中小企業の方が取引先との価格交渉を行う際に、あらかじめ知っておくべき基本的な法律の知識、トラブル発生のおそれのある取引内容や交渉力向上のヒントになる事項等についてお話をいただきました。



第一部講師 江部誠一 様



第二部講師 関 聡 様

た。第二部として、株式会社ローテック 代表取締役 関 聡 様より、「異業種合併の事例紹介」をテーマに、管工事会社と異業種合併した経験談をお話いただきました。

終了後に出席者の方にご回答いただいたアンケートでは、「下請法では、違反でないと思っていた事が違反であることがわかり参考になった。」「合併に至る背景や苦労話が大変参考になった。」「同業者の実態の話が聞いて良かった。」等の大変ご好評な感想をいただきました。

懇談会終了後は、講師にもご出席をいただき懇親会を開催、盛会裏のうちに今年度の電気工事業活性化懇談会は終了いたしました。



会場風景

電気工事技術者のための作業安全講習会



開会挨拶 梨本委員長

令和2年11月24日（火）、新潟東映ホテルにおいて、技術委員会主催による「電気工事技術者のための作業安全講習会」が開催されました。

電気工事技術者は国民生活において欠かすことのできない電気エネルギーを、安全・安心して使用できるよう、電気設備を施設する責務があります。しかしながら、電気事故例を見る限り、作業者のヒューマンエラーを要因とする事故例が多く見受けられ、これらの事故は電気工事技術者としての責務を果たしていないために発生したと言えます。

そのため、本講習会は第三者損害賠償制度における県内の事故例を参考に、電気工事技術者としての事故防止対策を目的に開催されました。

講師の当組合技術委員会の小川委員より講義をいただき、計33名が受講しました。

「県内の事故事例」、「わが社の取り組み」、「事故防止ハンドブック・失敗事例50選」、等のカリキュラムに沿って講習会が行われ、ヒューマンエラーがなぜ起こってしまうのか発生要因をひも解き、事故防止への意識を高める講義をいただきました。

受講者の感想では、



小川邦之 講師

「いつもやっている事への慣れを今一度正して、確認しながら作業を行いたい」、「作業内容が変わるたびに責任者の指示に従い作業を行う。作業終了後、指示通りで完了したか確認をしてもらおう」、「作業をするうえで職場仲間と意見を交換し、KYTを活かして事故のないよう努めていきたい」などの声が寄せられました。



受講風景

先進技術による 配電盤と電気工事



東港工場



三浦電機株式会社

代表取締役 小名 堅一郎

本社 新潟市東区錦町1-18 TEL (025)274-0381
FAX (025)274-0385
柏崎営業所 柏崎市三和町3-40 TEL (0257)24-3739
東港工場 新潟市北区島見町3399-10 TEL (025)255-4201

第34回

**消防設備保安功労者
新潟県知事表彰**

去る10月28日、第34回新潟県保安大会表彰式が技術士センタービルI（新潟市中央区）で執り行われ、当工組より、消防設備保安功労者として元副理事長の遠藤厚一氏が、地域社会における消防用設備の普及並びに維持管理と、消防設備に係る保安管理体制の確立に尽力した功績により、新潟県知事から表彰された。

▼第34回

消防設備保安功労者新潟県知事表彰



遠藤電機 株式会社
代表取締役社長

遠藤 厚一 氏

（長岡支部）

第28回

優秀施工者新潟県知事表彰

去る11月11日、第28回優秀施工者新潟県知事表彰の表彰式が新潟ユニゾンプラザ（新潟市中央区）で執り行われ、施工成績が特に優秀な施工者が表彰された。

当工組より、株式会社電通社 井浦幸晴氏が電気設備工事の施工管理が優秀であるとして表彰された。

▼第28回

優秀施工者新潟県知事表彰



株式会社 電通社
工事部 工務電設課
2課 課長

井浦 幸晴 氏

（新潟支部）



企業繁栄と

= 豊かなセカンドライフへの橋渡し =

東北七県電気工事業に従事する方々の
よりよい福祉の向上を目指す。

東北七県電気工事業企業年金基金

〒984-0074 宮城県仙台市若林区東七番丁157番地
TEL 022-221-4415 FAX 022-224-6843

村上支部

「電気工事業者のための
コンプライアンス研修会」開催

令和2年11月17日（火）、村上市教育情報センターにて、県工組総務委員・全日電工連総合政策会議未来構想ワーキンググループ委員の品田史夫氏を講師にお招きして「電気工事業者のためのコンプライアンス研修会」を開催いたしました。

電気工事業を営むにあたり守らなければならない法令は沢山あります。研修会で勉強できるのを楽しみにしていました。

研修会では、自己チェックシートの設定に沿って「特にありがちな勘違いと違反項目」を取り入れ解りやすく説明していただきました。皆さん、ありがちな勘違いにフムフムとうなずいていました。

1時間目、電気工事二法（電気工事士法・電気工事業法）は、私たちの仕事に密接に関係し守らなくてはならない法律です。登録・届出の更新・変更手続きは忘れがちです。組合員さんの中には、建設業許可を更新せずやめてしまい、「みなし登録業者」から「登録業者」に変更せず新しい「登録票」が届くまで仕事が出来なかった事例や、第二種電気工事士が認定電気工事従事者認定を受けずに自家用電気工作物の低圧部分の作業をし、「あなたの会社は、法を犯していますよ」と言われ携わった箇所の配線を全部やり直した事例などを身近に聞くと「知らなかつ

た」では済まされないのだと実感しました。

2時間目、建設業法の対象は、「建設工事の完成を請け負うことを営業するもの」全てに適用され、どのような工事においても契約書を作成する事。日頃からお付き合いがあるお客様だと口頭のみでの施工がありがちですが、違反です。しっかりと契約書を締結しなくてはなりません。なかなか難しいと思いますがクリアしていかなければなりません。

3時間目、雇用環境関連では、品田講師の会社の労働保険・雇用保険・社会保険等の通知書のコピーを回覧し説明されました。入職時の労働安全衛生法による教育は、必ず教育を受けさせる必要があります。（雇入れ時教育・低圧電気取扱特別教育）

あつという間の時間でしたが、電気工事業関連の法律、建設業法、その他関連の法律などの内容が集約され、電気工事業を営む上で欠かせない基本的事項について一度で学べるものでした。改めて「法令遵守」が組合員を守り、安心・安全の経営につなげていけるのだと思いました。各自の会社の法令違反はないか再度確認する機会を頂いた事に感謝申し上げます。

品田講師に解りやすく説明して頂き、内容の充実した研修会でした。ありがとうございました。



新発田支部

研修会・説明会を開催

令和2年11月17日に「接地工事研修会」並びに「PCB廃棄物の全廃に向けて」説明会を開催いたしました。

①「接地工事研修会」

接地工事研修会は11月5日に青年部主催で第1回目を開催し、支部では2回目となり、17名が受講しました。研修会では大阪府電気工事工業組合作成の研修用動画を使用し、受講者には大変参考になった様子でした。



接地工事研修会

②「PCB廃棄物の全廃に向けて」説明会

北辰通商(株)、(株)クリーンシステム両社担当者より、PCB廃棄物の高濃度・低濃度の判別から処理費用まで説明を受けました。古い一般住宅所有者や中小事業者からの相談が増加してくると予想され、参加者は真剣に聴講し、その後の質疑応答も活発でした。

当日は天候に恵まれたので、フルハーネス型安全帯使用時の昇降柱作業の説明・実技を実施



「PCB廃棄物の全廃に向けて」説明会

しました。東北電力ネットワーク(株)配電部の「フルハーネス型墜落制止用器具使用時の運用ルールについて」には「柱上作業における運用」…等の記載はありますが、昇降柱手順などの記載はありません。

そのことより、現時点での作業方法で、中野支部技術委員長より昇降柱作業実技を行っていただきました(電力仕様SV型を使用)。まだ、フルハーネス型安全帯の購入予約をしていない組合員も多く、今回実技を見て使用イメージを持つことができ、選定の一助になったと思います。



フルハーネス型安全帯使用作業実技

県青年部

令和2年度「移動理事会」「経営セミナー」を開催

県青年部（大島博会長）は、10月23日（金）に柏崎市産業文化会館（柏崎市）において、移動理事会・合同委員会を開催、親会の横田副理事長、県青年部理事・監事・顧問25名、オブザーバー1名、事務局1名の計28名が出席しました。県青年部役員全員を対象とした集合しての会議は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて今年2月から行うことが出来ず、約8ヵ月振りでした。

移動理事会では、議長に本間 隼人（三条支部）を選出し審議を行い、移動理事会に続いて合同委員会を開催しました。各議案については下記の通りになります。

〔移動理事会議案〕

第1号議案 収支中間報告について

〔合同委員会（交流・情報委員会並びに

経営・技術委員会）議案〕

今年度事業の具体的推進について

移動理事会・合同委員会終了後、柏崎支部青年部を中心とした他青年部会員にもご出席いただき、35名の参加者のもと、経営セミナーを開催しました。

今回は、支部青年部や地域の特色等を各支部青年部会員が紹介を行う様子を収めた事前に作成した動画「今こそ大注目の就職先！～新潟県電気工事工業組合13支部紹介～」を上映したあと、この動画の活用方法等についてグループ討議を行いました。そして最後に、今回の撮影時のNG集を上映しました。

途中のグループ討議では、「街角のオーロラビジョンに映す」「各地域のお祭りの出展の際に流しておく」「高校生への出前事業で活用」等様々なアイデアが出されました。最後のNG集では、セリフを忘れてたり噛んでしまったり、出演者同士挨拶のタイミングが合わなかったりと不慣れた撮影に懸命に臨む姿や、外撮影により車のエンジンなどの外部音で撮影中断を余儀なくされ戸惑う姿等、普段の会議では見られない青年部の仲間の一面を垣間みることができ、会場は大きな笑いに包まれました。

経営セミナー終了後は懇親会を開催、お酌を控えたり、開催時間を短くする等の新型コロナウイルス感染対策のために多くの制限を行った懇親会でしたが、久しぶりの再会ということもあり、参加者皆楽しく過ごしていました。



挨拶する大島青年部会長



挨拶する親会横田副理事長

今回、新型コロナウイルスの蔓延に伴い、東京一極集中の流れが見直されつつある中で、県



会場風景

内就職者が多く見込まれそうなことから、県青年部として一般の方向けの業界PR動画を新たに作成しました。30分版と、短時間でも動画をご覧いただけるよう短くまとめた5分版の2本を作っております。

今後、組合ホームページや一般の方にご覧いただけるSNS他にアップを予定しておりますので、是非ご覧いただければ幸いです。

最後に、今回の開催にあたり準備等に変なご尽力いただきました柏崎支部青年部の皆様に感謝申し上げます、報告とさせていただきます。

新潟支部青年部

令和元年度 新潟工業高校との交流事業

2020年は新型コロナウイルスの感染拡大により、計画していたほとんどの事業が中止となった1年でした。なかなか青年部全体で集まることができない状況が続いておりますので、前回の交流事業について報告させていただきます。

新潟支部青年部では、毎年12月に新潟工業高校との交流事業を行っております。本来であれば今年度も12月に開催する予定でしたが、残念ながらコロナで中止となりました。

昨年で5回目となった交流事業ですが、授業内容は、①電気工事の内容紹介 ②作業実演 ③意見交換会の3部構成で行っており、1限目の内容紹介では、パワーポイントを使って施工した現場の写真や仕事風景の写真を見せて解説していきます。一言に電気工事といっても様々な種類がありますし、電気工事以外にも、整地・掘削の様子や社内での安全衛生教育・危険予知活

動の様子も説明します。スクリーンに写し出される現場の写真はどれも学校の教科書では見られないもので、施工時の苦労した点を実際に施工した者から話が聞けるので先生からも好評でした。過去の授業ではDVDを見てもらったこともありましたが、映像をただ流して見てもらうだけでは寝てしまう生徒が目立ったので、ここ数年はこのやり方で、生徒に問いかけながら解説するスタイルで行っています。

2限目の作業実演は、青年部数名が生徒の目の前で実演します。前回はエアコンの取付け、分電盤の取付け、テレビアンテナの取付けを行いました。それぞれの工程で使う工具の説明や施工時の注意点などを説明しながら、実際に生徒に手伝ってもらったり、工具に触れてもらったりと体験させることも取り入れています。ときには、女性従業員の方に協力してもらい、女性も現場で活躍していることや女性ならではの細

かい作業を実演したこともありましたが、そしてこの作業実演で実は意外と大変なのが解説者です。生徒とコミュニケーションを取りながら進めていくため、生徒を飽きさせない且つ興味を引くような話術が必要となります。

最後の3限目の意見交換会は、生徒に8班に分かれてもらい、1班につき青年部が2名ついて様々な質問に答えていきます。質問内容は、仕事についてや職場の待遇について、資格について、学生時代どう過ごしていたかや休みの日の過ごし方など、仕事に関することからプライベートな質問まで本当にたくさん出てきました。中でも多かった質問は、電気工事士になってよかったことややりがいを感じる時、一番危険



だったことや大変な仕事、どんな資格を持っていると役に立つかなど、学生ならではの質問が多かったです。また、年間休日や就業時間など待遇面の質問も多く感じました。今の若い子は給料ややりがいよりも休日を重視して仕事を選ぶ子が増えていると聞いたことがありますが、まさにその通りだなと思いました。しかし、せっかく電気科に入学したのだから少しでも電気工事に興味を持ってもらい、我々が行っているこの交流事業が意味のあるものになっていけばなと思いますし、就職するときの選択肢の一つになってくれればなと切に願っております。

最後に、コロナウイルスの収束の見通しがつかない状況ですが、一日でも早く収束へ向かい平穏な日々が戻りますことを祈っております。



村上支部青年部

明るい未来へ歩みは止めない

私たち村上支部青年部は今年度、新型コロナウイルス感染拡大予防を考慮し例年行って参りました活動を全て自粛させて頂きました。

当たり前のように活動できる事が、どれだけありがたい事なのか会員一同痛感しているところであります。

皆さま方の地域と同様に、私どもの『ふるさと 村上市』にも未曾有の社会情勢の煽りが顕著に表れております。

観光産業がメインとなります村上市にとりまして、観光客の減少は市内全ての企業に直接的な影響を及ぼしてきます。

私ども『電気工事業界』にとりまして、お客様の設備投資の減額や発注停止による売り上げ及び受注減少は、事業継続に影響を与えてくることは必至かと思われまます。

しかし、この新型コロナウイルス感染拡大による未曾有の社会情勢の混乱は、必ず終息する日がきます。その時は昨年までとは違う法律や社会ルールが敷かれているかもしれません。

しかしライフライン『電気』に携わる電気工事業界は消滅する事はないと思っております。その日が訪れるまで、我々は歩みを止めず、更に進化し続けここ『村上市』の発展に貢献してい

こうと考えております。

結びとなりますが、新型コロナウイルス感染拡大が終息した暁には、是非私どもが愛する村上市へお越し頂ければと思っております。



新発田支部青年部

新発田支部活動報告

コロナ禍が続いており、毎年行われているイベント等も中止が相次ぎなかなか思うような活動ができずにいる新発田支部青年部ですが、11月5日に親会、青年部、会社従業員を交え講演会を開催しました。

講演会は2部構成とし、第1部は講師に県青年部星野顧問(燕支部)をお招きし「従業員様向け電気工事組合青年部とは」と題して講演をしていただきました。現在、どの支部も会員の減



少という問題を抱えており、今後の当支部の在り方として従業員の方の加入を視野に入れ、会員の拡大をしていきたいと思っています。講演の中で「青年部活動で得る横の繋がり、絆は最大の魅力だ」と聞き、今後の活動に対する意欲が更に向上できる内容の講演となりました。

第2部では、親会技術委員会による接地抵抗測定と電力仕様向けフルハーネスについて講演していただきました。こちらも普段自社の仕事の中では知ることのできない内容で、現場ですぐに役立つような貴重なお話を聞くことができました。

今後も、当支部ではこのような現況の中、どのような活動ができるかを話し合い、青年部に入っているスケールメリットを最大限に活かして活動していきたいと思っています。

令和3年度 消防関係試験実施計画

1. 危険物取扱者試験実施計画

試験日	受付期間		試験の種類	試験場所
	電子申請	書面申請		
R 3. 6. 5(土)	R 3. 4. 16(金) ～ 5. 7(金)	R 3. 4. 19(月) ～ 5. 10(月)	甲種 乙種第1～6類 丙種	新潟市 長岡市 上越市 佐渡市
9. 5(日)	7. 13(火) ～ 7. 30(金)	7. 16(金) ～ 8. 2(月)	甲種 乙種第1～6類 丙種	新潟市 長岡市 上越市 三条市
11. 21(日)	10. 5(火) ～ 10. 22(金)	10. 8(金) ～ 10. 25(月)	甲種 乙種第1～6類 丙種	新潟市 長岡市 上越市
R 4. 3. 5(土)	R 4. 1. 11(火) ～ 1. 28(金)	R 4. 1. 14(金) ～ 1. 31(月)	甲種 乙種第1～6類 丙種	新潟市 長岡市 上越市

2. 消防設備士試験実施計画

試験日	受付期間		試験の種類	試験場所
	電子申請	書面申請		
R 3. 6. 26(土)	R 3. 5. 11(火) ～ 5. 25(火)	R 3. 5. 14(金) ～ 5. 28(金)	甲種 第1～5類 乙種 第1～7類	新潟市 長岡市 上越市
10. 10(日)	8. 17(火) ～ 9. 3(金)	8. 20(金) ～ 9. 6(月)	甲種 特 類 甲種 第1～5類 乙種 第1～7類	新潟市 長岡市 上越市
R 4. 3. 12(土)	R 4. 1. 18(火) ～ 2. 7(月)	R 4. 1. 21(金) ～ 2. 10(木)	甲種 第1～5類 乙種 第1～7類	新潟市 長岡市 上越市

(一財) 消防試験研究センター 新潟県支部

※受験願書、免状の書換え申請書は、支部及び県内の消防署で3月中旬頃から配布をする予定です。
 ※詳細については、下記にお問い合わせ下さい。

〒950-0965 新潟市中央区新光町10-3 技術士センタービルⅡ 7階703号

TEL 025-285-7774 FAX 025-211-7011 <https://www.shoubo-shiken.or.jp>

新潟県電気工事工業組合ホームページ・ブログ リニューアルのお知らせ

新潟県電気工事工業組合では、令和2年11月にホームページ・ブログを全面リニューアルいたしました。

今回のリニューアルでは、皆様にとってより見やすく、情報が探しやすい構成やデザインに改善するとともに、近年、当組合が特に重点的に実施しております電気工事業界の魅力紹介や女性活躍推進の取り組みについての特集ページを設け、最新情報を発信してまいります。

また、旧ホームページはパソコン専用のホームページとなっておりますが、時代を考慮しスマートフォンやタブレットなどのモバイル端末での閲覧にも対応いたしました。

この度のリニューアルに伴い、組合ホームページの URL が下記のとおり変更になりましたので、ブラウザの「ブックマーク」「お気に入り」などに登録されている場合や、当組合ホームページへのリンクを設定されている場合は、誠に恐れ入りますが、新しい URL への変更をお願いいたします。

これからも、引き続き皆様方のお役に立つ情報のご提供や、内容の充実に努めてまいりますので、是非、リニューアルいたしました組合ホームページ・ブログをご高覧賜りますようご案内申し上げます。

新潟県電気工事工業組合ホームページ 新 URL

<https://www.dkkni.or.jp/>

The image shows a screenshot of the NDKK homepage. At the top left is the NDKK logo with the text '新潟県電気工事工業組合' (Niigata Prefecture Electrical Contractors Association). To the right is a 'お問い合わせ' (Contact Us) button. Below the header is a navigation menu with items: '組合について' (About the Association), '組合加入のご案内' (Joining the Association), 'アクセス' (Access), '新潟電気安全サービス' (Niigata Electrical Safety Service), and '組合員専用 (サイボウズ)' (Members Only (Cybozu)). The main content area features a large banner with the text '電気は生活と社会インフラを 守り支える必要不可欠なエネルギー' (Electricity is an indispensable energy source that supports and maintains life and social infrastructure). Below this is a paragraph: '新潟県電気工事工業組合 (NDKK) は、新潟県内の 電気工事業界の健全な発展と、中小企業の共存・発展を目的に 設立され、組合員のための様々な事業を行っています。' (NDKK was established with the purpose of promoting the healthy development of the electrical construction industry in Niigata Prefecture and the coexistence and development of small and medium-sized enterprises, and is engaged in various activities for the benefit of members). The banner also includes a photo of the '新潟 萬代橋 (新潟市)' (Niigata Manai Bridge, Niigata City). At the bottom right of the screenshot is a QR code with the text '組合 HP はこちら (QR コード)' (Association HP is here (QR code)) and a downward arrow pointing to the QR code.

組合新ホームページ トップページ

組合 HP はこちら
(QR コード)



※新ホームページトップページから、組合ブログ、組合 Twitter・YouTube チャンネルにもアクセスできますので、合わせてご高覧賜りますようご案内申し上げます。

組合イントラネット(サイボウズ)ご利用のご案内

新潟県電気工事工業組合では、組合イントラネット(サイボウズ)を通じ、組合員・青年部会員の皆様に、組合や行政・関係団体からの様々な情報を発信しています。まだ、ご利用されていない組合員・青年部会員の方は是非ご利用ください。

組合イントラネット(サイボウズ)へのログイン方法は所属支部にお問い合わせください。

【組合イントラネット(サイボウズ) トップ画面】



サイボウズの機能

- メッセージや掲示板による組合員向けの各種情報提供
- 文書ファイルの共有(モデル就業規則、サイボウズ操作マニュアル等)
- スケジュール管理、共有 等



設定操作用タブレットEx

Panasonic

レイアウト変更時も
調光操作・設定が簡単に。

ワイリア

WiLIA

無線調光シリーズ

Wireless Lighting Interface with Address

< マルチマネージャー Ex タイプ >

詳しくはWEBへ



下記の URL および QR コードから、全日電工連各種保険制度の説明動画をご覧ください！ ぜひ、ご利用下さい♪

全日電工連 2021年度 福利厚生制度 各保険制度説明動画 URLおよびQRコード一覧

説明動画（フル版）



<https://bit.ly/373TBfH>

第三者損害賠償制度



<https://bit.ly/3od8Hra>

組立保険制度



<https://bit.ly/3ojxsSH>

業務災害補償制度



<https://bit.ly/3jgS4aq>

生活総合保険制度



<https://bit.ly/35mTOd2>

グループ共済制度



<https://bit.ly/2T9uKRg>

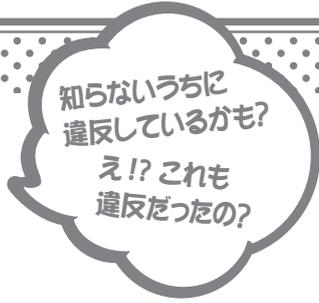
取引信用保険制度



<https://bit.ly/34hZfe5>

コンプラ講座シリーズ

電気工事業コンプラ mini 講座②



当工組総務委員会では、令和元年度から各支部にてコンプライアンス研修会を開催しております。研修会の内容は、電気工事業を営む上で欠かせない事項ばかりです。

その中からピックアップしてご紹介してまいりますので、チェックしてみてください!

主任電気工事士の設置は適正ですか

「ありがちな勘違い(例)として、

「主任電気工事士として登録していた社長が退任し、別の主任電気工事士に変わったにも関わらず、変更届を出していなかった」というケースが見受けられます。

登録している方が退職・異動等で変更となった場合は、変更の届出義務がありますので、ご注意ください。

電気工事業者が、保安上万全を期して工事を施工するために、その営業所毎に、主任電気工事士を置き、電気工事の作業の管理を行わせなくてはなりません。

また、主任電気工事士は、作業に従事するのみではなく、その作業の管理を行う必要があるため、「第一種電気工事士もしくは、第二種電気工事士の免状を受けたのち3年以上の実務経験を有するものとする」という規定がありますので、併せてご確認ください。

組合員の異動

令和2年10月～12月理事会報告分

日付		支部	
R3.3.31	脱退	三条	茂野電気工事店
R3.3.31	脱退	小千谷	上村電機

組合員の変更

令和2年10月～12月組合受付分

支部	事務所	変更箇所	変更前	変更後
新発田	(株)佐藤電機	商号	佐藤電気工事店	(株)佐藤電機
		代表者	佐藤文雄	佐藤勲
		住所	〒959-2651 胎内市西条町5-40	〒959-2658 胎内市西条652-6
長岡	(株)三友電工舎	代表者	五十嵐一男	真水 和也
	(株)下山電機工業	代表者	川上由雄	川上 亮
小千谷	(株)魚沼電子	代表者	猪俣光夫	宮川 洋祐
上越	田辺工業(株)	代表者	水澤文雄	田中 稔
	(株)藤巻電業	商号	(資)藤巻電業	(株)藤巻電業

変圧器／ヒューズ／開閉器／受配電設備／配電自動化機器／監視制御システム／
太陽光発電用パワーコンディショナ／高周波電源／溶接機／切断機／ロボット

DAIHEN

株式会社ダイヘン

本 社 〒532-8512 大阪市淀川区田川2丁目1-11 TEL 06(6301)1212

東北支社 〒981-3133 仙台市泉区泉中央4丁目7番地7 TEL 022(218)0942

<http://www.daihen.co.jp/>

編集発行：新潟県電気工事工業組合

〒951-8068

新潟市中央区上大川前通6番町1203番地

<管理部門> TEL 025(229)4101

<資材部門> TEL 025(229)1586

印刷：株式会社 大創



安全は一人ひとりが責任者
手順を守ってゼロ災職場

〈安全標語〉 新潟支部 昱工業(株) 丸山 正勝

新潟県電気工事工業組合